

平成 17 年度(2005 年度)
日本学術振興会
海外特別研究員 (N I H) 申請書

派遣先国	米国 (N I H)	受付番号
分 科		
細 目		

平成 年 月 日

申請者氏名 _____ 印

所属機関・
職 名 _____所属機関
住 所 _____

(〒 -)

(電話 - -)

(FAX - -)

自宅住所 _____

(〒 -)

(電話 - -)

(FAX - -)

E-mail _____

1. 研究課題名 〔和文〕 (40 字以内) _____ 〔英文〕
2. 派遣を希望する期間 (希望する派遣開始日を で囲むこと) 平成 18 年 (2 0 0 6 年) (1 月 1 日・2 月 1 日・3 月 1 日) から 2 年間
3. 現在の受入研究者 氏 名: 所属・職: 大学院での研究指導者 氏 名: 所属・職:
4. 海外における受入研究機関〔英文〕 機 関 名: 部 局 名:
5. 海外における受入研究者〔英文〕 氏 名: 職: 連絡先:

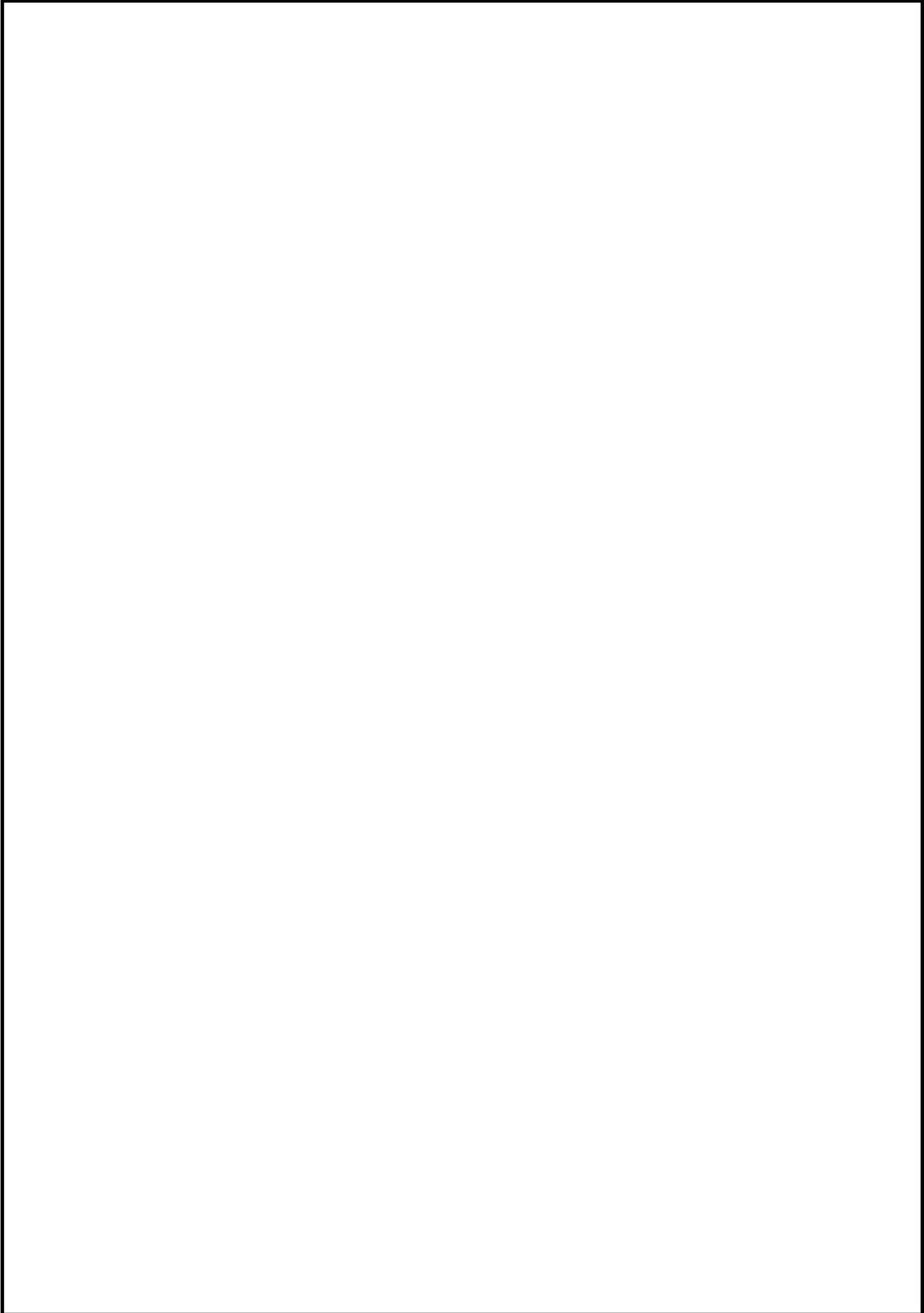
注: (1) 分科, 細目の欄は, 別紙「分科・細目表」に基づいて記入すること。

(2) 印の箇所は記入しないこと。

(3) 氏名欄は, 自署の場合は押印を省略してよいが, ワープロ等で記名した場合は必ず押印すること。

(4) 研究課題名(和文)は句読点を含め40字以内とすること。一般的、抽象的な記述ではなく、具体的かつ簡潔な記述とすること。

6.派遣先における研究計画（どのような研究方法で、何を、どこまで明らかにしようとするのかを、具体的に記入すること。）



申請者氏名_____

7.研究の特色・独創的な点

8.派遣先における研究の必要性

日本学術振興会海外特別研究員（NIH）申請者調書

フリガナ 氏 名				性別	男 女
アルファベット表記					
生年月日	19 年 月 日	2005年4月1日現在 歳	国籍		
学位等	博士（単位修得退学）	修 士	学 士		
	年 月（取得・見込） 大 学	年 月 大 学	年 月 大 学		
専 攻					
主な学歴・職歴					
海外特別研究員終了後の進路					
過去の渡航歴（在外研究，外国留学，国際会議出席等について訪問先，目的，期間等を記入すること。）					
語学能力（記載は優，良，可，不可で自己評価して記入すること。）					
	読解力	作文力	会話力		
英 語	_____	_____	_____		
フランス語	_____	_____	_____		
ドイツ語	_____	_____	_____		
語	_____	_____	_____		
語	_____	_____	_____		
派遣希望先の研究者との連絡状況					

記載された以外の外国語の能力のある者は追加記入すること。

申請者氏名_____

研究業績

(1) 学術雑誌等（紀要等は除く）に発表した論文

最近発表された主な著書，論文等10編以内について，その著者（共著であれば，申請者を含む全員の職・氏名を，論文と同じ順番で記載し，申請者名にアンダーラインを付すこと。），題名，掲載誌名，年月，巻号，頁を記載すること。

(2) 学術雑誌等に投稿中の論文

- ・ 著者（共著であれば、申請者を含む全員の職・氏名を、論文と同じ順番で記載し、申請者名にアンダーラインを付すこと。）、
題名、投稿した学術雑誌名を記載すること。
- ・ 学術雑誌等に記載が決まった論文については、受理証明書を P8 のあとに添付すること。

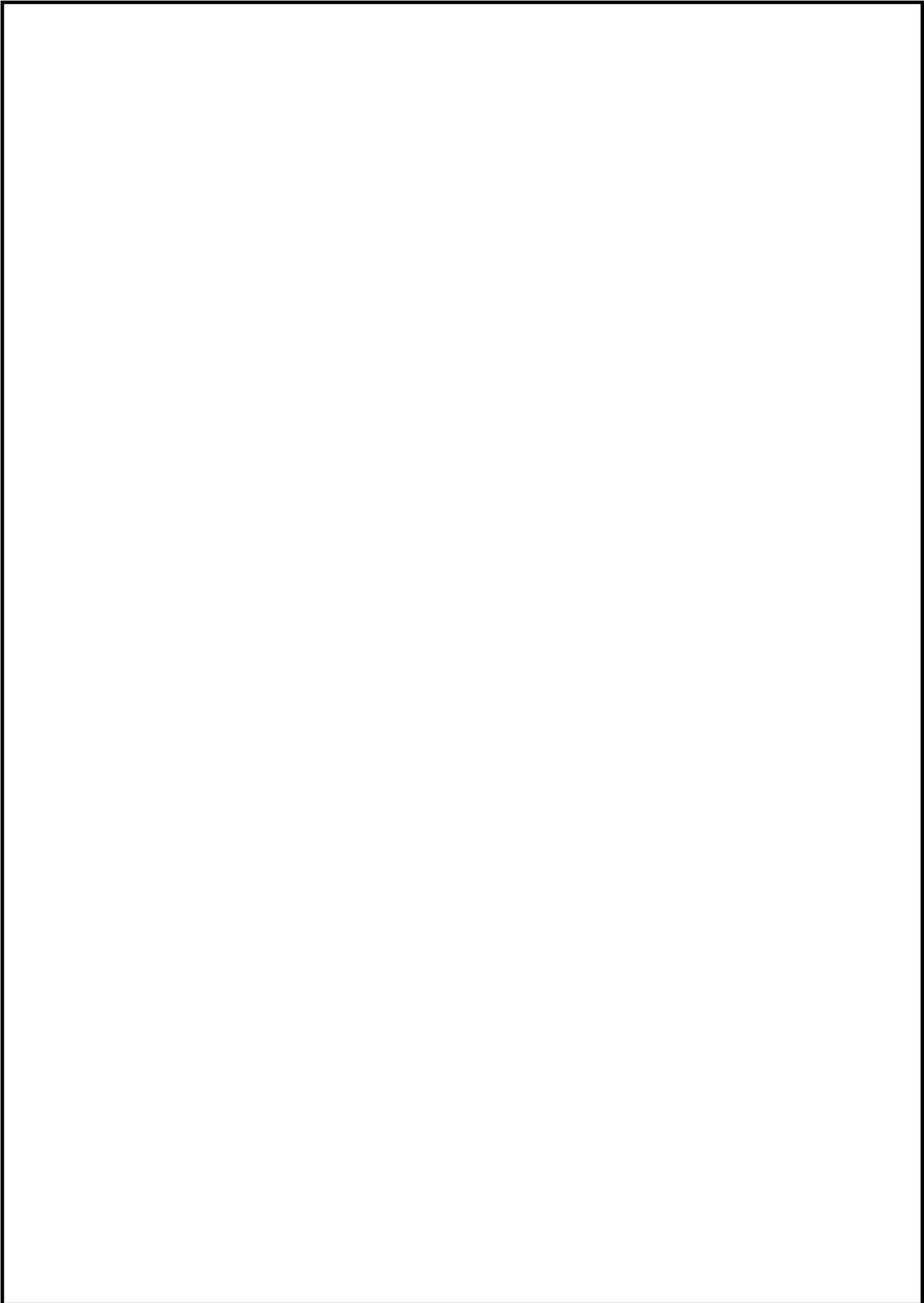
(3) その他参考となる事項（学会において口頭発表もしくはポスター発表した論文、紀要等に発表した論文等）

学会において口頭発表あるいは、ポスター発表をした場合は、共同研究者（全員の氏名） 題名、発表した学会名、場所、年月をこの欄に記載すること。なお、査読のある会議で発表をした場合は、既発表・採択決定・査読中・投稿中の別を明記すること。

紀要等に発表した論文については、その旨を明記して、この欄に記載すること。

学会誌等における誌上発表については、その旨を明記して、この欄に記載すること。

特許等の業績については、この欄に記載すること。



申請者氏名_____